

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



神津牧場花祭り（毎年5月の第3日曜開催。今年は5月19日開催）



菜の花祭り用に育てた畑（馬山地内）

あなたと議会を結ぶ 確かな情報と信頼

主な 内容

- 平成31年度予算……………2～3
- 予算決算質疑……………4～6
- 一般質問等……………7～11
- 審議結果……………12～13
- 反対討論……………13
- シリーズジオパーク®……………14

下仁田町議会
QRコード



平成31年度予算

一般会計は52億7800万円

前年度比 4億7,200万円の増額 (9.8%)

■主要事業

(単位：万円)

事業名等	予算額
プレミアム付商品券事業 (国 1,566万円)【新】	1,566
集落高齢者等タクシー利用券交付	240
地域おこし協力隊事業 (福祉分野 694万円・農業分野 1,018万円)	1,712
下仁田南牧医療事務組合負担金 (過疎債 5,290万円・基金 1,450万円・一般財源 2億7,894万円)	3億4,634
成人男性に対する風しん追加対策 (国 184万円・一般財源 337万円)【新】	521
中山間地域所得向上支援事業補助金 (県 394万円)【新】	394
有害鳥獣駆除対策 (県 1,001万円・一般財源 661万円)	1,662
小規模農村整備事業 (4路線 県 3,492万円・過疎債 4,380万円・一般財源 8万円)	7,880
林業・木材産業成長産業化促進対策補助金 (県 7,478万円)【新】	7,478
特用林産物生産活カアップ事業補助金 (県 344万円・一般財源 69万円)	413
ぐんま緑の県民基金事業 (県 384万円・基金 650万円・一般財源 1,047万円)	2,081
森林経営管理事業 (譲与税 1,434万円・基金 174万円)【新】	1,608
県単林道改良事業 (2路線 県 778万円・過疎債 770万円・一般財源 8万円)	1,556
起業支援事業補助金 (新たに起業しようとする方に必要な経費の一部補助)	200
風穴バス運転委託 (県 50万円・一般財源 50万円)【新】	100
過疎道路整備 (3路線 国 2,886万円・過疎債 1億4,150万円・一般財源 64万円)【新】	17,100
町道橋修復工事 (3カ所 国 2,808万円・過疎債 2,330万円・一般財源 10万円)	5,148
河川改修工事 (2カ所 防災対策事業債 1,970万円・一般財源 10万円)【新】	1,980
旧下仁田西中学校解体 (国 2,552万円・過疎債 2,550万円・緊急防災減災事業債 4,300万円 一般財源 64万円)【新】	9,466
ALT招致 (外国語指導助手) 小中学校 各1名	929
中学生海外派遣費 20名分 (負担金 395万円・基金 220万円・一般財源 487万円)	1,102
学校・家庭・地域連携協力推進事業 (県 150万円・一般財源 85万円)	235
文化財調査保護 (国 1,995万円・県 1,076万円・過疎債 970万円・風穴入場料 431万円・ふるさと寄附金 350万円・風穴基金繰入 321万円・一般財源 327万円)	5,470
ジオパーク運営費 (県 13万円・一般財源 1,034万円)	1,047

○定住促進事業

定住促進奨励金（町内新築住宅取得者へ 25 万円支給）	250
空き家等利活用事業補助（経費の 2 分の 1 以内 100 万円限度）	220
移住支援金補助金（県 150 万円・一般財源 50 万円）【新】	200
ねぎとこんにやく下仁田奨学金事業（地域全体で応援する奨学金制度） 奨学金補助（ふるさと寄附金 1,500 万円・基金繰入 330 万円・一般財源 501 万円）	2,331

○少子高齢化対策事業

出産祝金（出産時に第 1 子 5 万円、第 2 子 10 万円、第 3 子以降 20 万円支給）	185
入学祝金（小学校、中学校入学時に祝金 3 万円と商品券 2 万円分を支給）	360
不妊・不育治療費助成（治療費の 2 分の 1 助成 100 万円限度）	100

【新】は新規を表しています。

（万円未満切り捨て）

全国町村議会議長会表彰 （議員 15 年表彰）



岩崎正春 議員

併せて、群馬県知事より感謝状が贈呈されました。

群馬県町村議会議長会表彰 （議員 23 年表彰）



岡田武二 議員

併せて、議会より顕彰状が贈呈されました。



佐藤公夫 議員

◆自治功労者表彰授与
多年にわたる地方自治の発展に尽力した功労が認められ、表彰を授与されました。

3 月定例会の概要

▼開会日・一般質問 （3月5日）

会期を15日までとする決定を行い、4人の議員が、町政のさまざまな課題について一般質問を行った。
7～11ページ参照

▼議案の上程・採決（7日）

人事案件・条例の一部改正等14議案を上程・採決し、平成31年度当初予算および平成30年度補正予算を予算決算特別委員会に付託した。

▼予算決算特別委員会 （8日・11日）

付託された案件の審査を行った。4～6ページ参照

▼最終日・採決（15日）

平成30年度一般会計補正予算が否決されたことを受け、平成30年度特別会計補正予算等が撤回された。審議結果は12・13ページをご覧ください。

予算決算特別委員会

▼主な質疑

◆平成30年度下仁田町一般会計補正予算(第4号)

問 ふるさと納税額減少対策は。

答 6月より総務省指定制度となり、返礼品は寄付額の3割以下、地場産品への縛りが厳しくなる見込み。ねぎは約1100件と、昨年の600件より増加。新規寄付者増加とリピーター確保に向けた取り組みを強化していきたい。

問 奨学金交付金の減額について。

答 大学生等44名、高校・予備校生32名及び新規加入者等25名、就職7名を見込んだ数に基づき補正した。

問 補助は平成29年度から

か。

答 利子補給補助は29年度から、元本補助は30年度から開始である。

問 有害鳥獣被害は減っているか。捕獲頭数はどうか。

答 成果は出ていると思うが、近隣と比べて頭数が多く、被害を受けている住民がまだ多数いる。平成29年度はシカ746頭、イノシシ151頭、サル31頭。平成31年1月末ではシカ537頭、イノシシ136頭、サル8頭である。

問 後継牛確保補助金は、平成29年度3月補正減額、30年度増額理由は何か。

答 畜産振興対策事業費補助金の改正によるもの。
問 事業を活用した牛の経過観察は実施しているのか。

答 導入に要する経費への補助で、5年経過後等

の確認は実施していないが、今後確認をしていきたい。

問 公営住宅管理の説明を。

答 伊勢山下団地で、平成29年完成分が4戸、平成22年建築分が8戸中4戸未入居であったことを踏まえ、空住宅解消をまず考え、吉崎しらかば団地改修工事は見送った。補正予算は工事費1,328万4千円の内、国庫補助金が450万6千円減額で、その他は住宅使用料で、877万8千円減額である。

◆平成31年度下仁田町一般会計予算

【歳入】

問 荒船風穴入場料は30年度と同額だが、入場者増加対策は。

答 30年度11,638人の見学者で、29年度比800人増。31年度は、登録5周年で、富岡市開

催予定のシルク博に協力し、風穴ハイキングなどを企画している。

【歳出】

問 ブロック塀等撤去改修工事費の場所はどこか。

答 旧馬山小学校グラウンド東側の高さ1.6m、延長約48mの塀である。旧小坂小学校グラウンド国道側のブロック塀も計上したが、国道や歩道もあることから早急に年度内に予備費で対応する。

問 旧小坂小学校ブロック塀の概況はどうか。また取り壊すだけで工事終了か。

答 塀の高さ1m、その上に2mの金網フェンスが設置、延長は約98mである。既にブロック塀を取り除いたが、今後ネットフェンスを設置する。

問 緊急通報体制整備事業について説明を。

答 65歳以上一人暮らし、一時的単身虚弱高齢者及び75歳以上の要介護者がいる高齢者2人世帯対

象。有線電話回線を利用し、ペンダント式と生活場所にセンサー設置。不測事態発生時に家族や支援者へコールセンターから連絡が行く。30年度から特殊詐欺抑止機能付装置を整備。町が使用料1件当たり月約3,000円負担、個人負担月300円。60件利用。

問 タクシー券の地区別対象者を把握しているか。また、240万円で充分と思うか。

答 把握していない。検討が必要、課題解決に向かつて努力したい。

問 美しい森林づくり基盤整備交付金について説明を。

答 森林組合等が実施する除間伐や林経作業道の整備に対し交付、現在は林野庁の方針で間伐事業のみが対象で、間伐に対する交付金は事業に要する経費の1/2以内である。今年度実績が、12haの施業で事業費200万円、予算上は100万

円交付金。平成31年度
予定が6haで、事業費
106万円を見込んでい
る。また、当事業は県の
単独補助事業の緊急間伐
促進対策事業を併用し、
事業費の1/2以内が補
助される。

問 道の駅のトイレ清掃委
託の説明を。

答 県所有だが、清掃は協
定により町が行うため、
指定管理者である産業開
発しもにたに清掃委託し
ている。

問 清掃が行き届いていな
いため、専門業者に代え
ると委員会で説明を受け
た。天井には蜘蛛の巣も
あった。きれいにするよ
う指導を徹底してもらい
たい。

答 改善するよう伝えてあ
る。専門業者の話も出た
が、代えるとは言ってい
ない。専門業者を定期的
に入れることも考慮しな
がら行っていきたい。

問 風穴バス運転委託につ
いて、世界遺産になった
時に農村公園から風穴ま

でバスを運行したが、1
年くらいで中止になった
のは、利用客が少なかっ
たのと、不便だったか
ら。今回100万円のう
ち50万円が千客万来補助
金、一般財源50万円。何
人輸送し、いくら協力金
をもらうのか。

答 約1,200人と考え
ている。運賃徴収はでき
ないため、ガイド料とし
て1000円の寄付とした
い。神津牧場の要望もあ
り、実証検証も踏まえて
実施したいと思う。

問 タクシー券増額要望も
ある。要望書として出て
きていないだけ。町長も
公共交通機関が行ってい
ないところにはタクシー
券を出すと公約していた
のではないか。

答 要望書が出れば、担
当課で検討することにな
る。
問 下仁田町観光協会補助
金で、1,100万円以
外に町からの支出はある
か。

答 商工観光課は、荒船の

湯の指定管理料、地域創
生課は310万円の暮ら
しの相談窓口業務委託料
を支出している。

問 暮らしの相談窓口業務
内容は。

答 移住定住業務として、
相談や空き家内覧会など
を実施、その人件費であ
る。

問 平成29年度予算から
観光協会に補助金委託費
の金額が大幅に増えてい
る。今まで観光協会の事
務局は商工観光課がやつ
ていた。観光協会ができ
て課の負担が減ったわけ
でもない。1,400万
円の人件費を払って、効
果はあると思うか。

答 観光というのは目に見
えないものなので何とも
言えない。
問 橋梁維持費が30年度比
較で少額であるのは、補
修が進んでいるというこ
とか。

答 毎年1橋ずつ、現在5
橋の補修を実施。前年度
比少額理由は、30年度に、
橋長2m×15mの148

橋の橋梁点検を実施した
ため。橋長15m以上の59
橋は平成27年度に点検実
施済である。

問 橋梁補修は今後も続け
ていく見通しか。

答 現在の橋梁補修工事は
平成27年度の点検結果に
基づき判定の悪いものか
ら実施しているが、30年
度の点検結果により、判
定の悪い橋梁数増加が想
定されるため、今後も継
続して実施していくもの
と考えている。

問 除雪委託料は、雪の降
らない時も支払うのか。

答 建設業者に委託し、バ
ス路線を優先に除雪を実
施。今年は暖冬で降雪が
少なかったが、滑り止め
砂の設置や降霜、降雨後
の早朝の冷え込み時に、
塩カル散布等を実施。予
算額は、前年及び前々年
の実績に基づいて財政係
と協議のうえ計上。

問 公営住宅用地の借上面
積はどのくらいか。

答 しらかば団地1,
188坪、吉崎団地

785坪、東団地199
坪である。

問 30年以上借りている。
適正単価で土地譲渡を交
渉して貰えればと思う。

答 賃借・売買等もふまえ
て検討する。

問 吉崎しらかば団地の改
修工事は、30年度に計画
して中止、他の団地が空
いているからといって31
年度も修繕しないのは考
え方がおかしい。

答 平成29年に新築して平
成30年4月を過ぎても1
件も入居しない状況では
改修はできなかった、そ
の後、ようやく新築住宅
に入居したが、例年こん
なに多くの入居はなかつ
た。ここ10年では年間
平均2,3件程度の入居
だった。改修整備したも
のの、空いてしまう懸念
があり補助金には手が拳
げられなかった。

問 古いものを改修しない
のは消極的で理解できな
い。

答 補助金取り下げにつ
いて、委員会に話をしな

※農村公園とは…

荒船湖（道平川ダム）上流の左岸にあり、遊具が設置されている。
周辺にはテニスコートなどの施設があるサンスポーツランドが隣接。

かった事は謝りたい。

◆平成31年度下仁田町国民健康保険特別会計予算

問 制度が変わって国保税を徴収し、県へ納めるということか。

答 平成31年4月より財政運営が県となり、国保税を県に納付する。医療費は、県が国保連に支払う。後期高齢者医療制度と同様を目指している。平成35年をめどに県下統一保険税率になるかもしれないが、人間ドック助成や特定健診自己負担額などまちまちであり、保健事業の足並みを揃えるのは難しいと思われる。

問 県下統一のメリットは。

答 財政基盤が大きい方がいいが、ただし、国保税は今より上るかもしれない。

◆平成31年度下仁田町水道事業会計予算

問 水道管の更新状況はいかがか。

答 予算や道路交通状況、漏水発生状況などを加味し、耐震性管で施工する。舗装本復旧のある国県道は、多額費用が掛かり、更新が伸びない状況である。進捗状況は、平成29年度水道管総延長約111kmで、内、法定耐用年数40年以上経過総延長が約32kmで約29%。耐震化済管が約12・3kmで約11%。平成30年度に、10年間の水道経営戦略を策定し、耐震化率平成35年度12・1%平成40年度12・8%の目標。実現可能数値で計画的に進める。

広域圏NEWS

富岡甘楽広域議会

富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合議会定例会が2月26日に開催された。

◆平成30年度富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ377万1千円を減額し17億2,279万3千円とする。

全会一致で可決

◆平成31年度富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合予算

歳入歳出予算の総額18億2,896万9千円とする。前年当初予算比1億1,079万円、6.4パーセントの増額予算。

全会一致で可決

病院議会

下仁田南牧医療事務組合定例会が3月4日から19日の会期で開催された。

◆平成30年度病院事業会計補正予算
全会一致で可決

◆平成31年度病院事業会計予算

事業収益は16億2,207万5千円で、対前年度比マイナス0.6%、事業費用は16億3,065万1千円で、対前年度比マイナス10.1%。主な内容は、132床体制で運営し、医療機械整備事業に1,738万2千円、建物附属設備事業に2,027万3千円を計上、企業債償還金9,200万円などを見込んでいる。

全会一致で可決

環境議会

甘楽西部環境衛生施設組合定例会が、3月4日、19日に開催された。

◆平成31年度甘楽西部環境衛生施設組合予算
予算総額2億7,758万3千円で、前年度対比8.7%の増額。

主な増額理由は、クリーンポケット（最終処分場）で、堰堤工事を予定しているため。

全会一致で可決

一般質問

町政を問う

■ 質問事項一覧 >>> (傍聴者数 3 人)

岩崎正春 議員 60 分

〈 質 問 の 相 手 〉

- | | |
|---|-------|
| 1. 31 年度予算の重点施策と財源 | 町 長 |
| ①重点施策は ②行財政改革への取り組みは
③地域医療と繰出し金 ④国土強靱化計画と防災・減災対策 | |
| 2. まち・ひと・しごと戦略ビジョンの進捗状況 | 町 長 |
| ①移住施策の実績は ②テレワークオフィスの今後の活用は
③戦略ビジョンの PDCA 評価はどのようにするのか
④ふるさと納税寄付金の今後の取り組み | |
| 3. 世界遺産とジオパークの活用は図れるのか | 教 育 長 |
| ①第5次総合計画に謳われている「世界遺産の保存と活用」並びに
「ジオパークの研究と活用」教育および地域文化の振興はどのよ
うに進めるか | |

永井正之 議員 30 分

〈 質 問 の 相 手 〉

- | | |
|---|---------|
| 1. 高齢者対策 | 福祉保険課長 |
| ①ひとり暮らし高齢者の現状と見直し
②ひとり暮らし高齢者の対策 | 町 長 |
| 2. 林業振興 | 農 林 課 長 |
| ①林政会議の目的・会議録(2年間)
②専門的知識のある職員が必要でないか
③森林県から林業県になったが、期待は、認識は | 町 長 |

佐藤 博 議員 50 分

〈 質 問 の 相 手 〉

- | | |
|---|-------|
| 1. テレワークオフィスについて | 町 長 |
| ①現状の活用状況について ②瑕疵担保責任部分のその後の状況
③指定管理者について | |
| 2. 小中学校教育 | 教 育 長 |
| ①不登校の実態、状況、対策等について
②中学校の部活動の状況について | |

佐藤公夫 議員 30 分

〈 質 問 の 相 手 〉

- | | |
|--|-----|
| 1. 予防医療の取組 | 町 長 |
| ①予防医療の取組 | |
| 2. 31 年度予算 | |
| ①歳入 14 款(使用料及び手数料) 21 款(諸収入)
②歳出 10 款(教育費) 7 款(商工費) | |

※次ページからの質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。会議録の詳細は、5月上旬から下仁田町議会のホームページに掲載しますのでご覧ください。

下仁田町議会ホームページアドレス <http://www.town.shimonita.lg.jp/m08/index.html>



岩崎 正春 議員

31年度予算の重点施策と財源

問 重点施策は答主に10項目

議員 税金と起債残高は。

総務課長 町税が平成24年

は9億1,764万あったものが31年度予算では8億2,500万円と9,000万円余の減収。借入れ見込み額5億4,790万円に対し、元金償還額が6億2,986万円と償還額が多いことから、未償還残高は5億1,000万円ほど。

議員 行財政改革の取り組みは。

町長 今後も既存経費の見直し、また事務の合理化、そして執行方法の改善等一

層の効率化に努めていく。議員 職員定員計画では、減員ができない理由は。

資料①参照

町長公室長 現在の職員の再任用制度の骨子が確定されていないため定数管理に生かすことができなかった。平成32年に見直すこととなっている。

議員 病院に高額な繰出金が出ています。いつまで続く見通しなのか。

総務課長・病院への繰出しは病院が存続限り続くこととなる。資料②参照

議員 年に3億何千万の赤字が出るのかの話だけが進んでいて、改善策が示されていない。地域医療を守るために歳出削減が急務だ。

町長 抜本的な改革を病院議会や、この議会の皆さんにも協力をお願いしたい。

議員 ガソリンスタンド過疎地とその強靱化支援策は。

商工観光課長 次世代燃

資料① 職員定員管理計画（実績）平成17～27年度

平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
144人	139人	135人	132人	128人	125人
平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	実績
122人	116人	118人	114人	112人	▽32人

職員定員管理計画 平成28～37年度

平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年
116人	117人	116人	115人	116人	116人
平成34年	平成35年	平成36年	平成37年	※平成28年2月策定「下仁田町定員管理計画」より	
113人	115人	113人	113人		

資料② 病院への繰出し金予算

繰出し総額 3億4,634万7,000円	内訳（普通交付税、特別交付税） 交付税 2億27万9,000円 一般財源内訳
	過疎債ソフトウェア分 5,290万円
	ふるさと応援基金 1,450万円
	充当不足分 7,866万8,000円

資料③ 定住者数

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
29名	52名	42名	45名	168名

料供給体制構築支援事業で、具体的な事業要綱等は示されていない。

問 まち・ひと・しごととの戦略ビジョンの進捗状況は

答 移住定住に力を入れる

資料③参照

地域創生課長 東京圏から移住し、県の指定する

中小企業に就職した場合は最高100万円を支給し、それが起業の場合に

は最高300万円を支給する事業が国、県、市町村の財源により始まる予定。就農にあつては、国が行う農業次世代人材投資事業として、就農前の研修期間の生活の安定や、就農後の経営の確立のための資金を交付する制度がある。経営開始に必要なとなる施設や機械等の購入費等に利用できる無利子の融資制度を紹介する。

問 世界遺産とジオパークの活用は

答 今後もさらに活用方法を検討する

教育課長 郷土を愛し、郷土を誇りに思う児童・生徒を育成するために、小学校と中学校が連携して荒船風穴や下仁田ジオパーク、ねぎ、こんにやくを学習の4つの柱といまして、9年間を通して児童・生徒の発達段階に応じた系統的な下仁田学習を実施していく。



下仁田学習でジオパークを学ぶ小学生

問 林業に特化した専門職員を

答 積極的に考えたい

議員 以前の一般質問で、

施策の検討を行う林政会議で伐採補助の検討を約束したが。

農林課長 収穫行為は対象とはしてはならないそうです。

議員 森林伐期を考えると、もう待ったなしの状態、何か項目を変えた方向での検討はなかったのか。

農林課長 町の財政が厳しく、単費での予算確保は大変難しい状況ですが、実現に向けて検討は行っていきたいと考えています。

議員 確かに財政は厳しいと思いますが、やりくり



を特別交付税措置される制度を積極的に取り入れたい。

町長 その方向で考えていきたい。

議員 群馬県が森林県から林業県になった認識と期待は。

問 ひとり暮らし高齢者に集合住宅を

答 検討の余地あり

議員 今、下仁田町ではひとり暮らし・二人暮らしが大変ふえている。ひとり暮らし高齢者は何人いるか。

福祉保険課長 70歳以上で449名です。

議員 二人世帯も多分、次世代の候補となるのではないか、今後の見通しと対策は。

福祉保険課長 二人世帯も420戸あり、その可能性は十分あります。交流を図ることを、目的にひとり暮らし高齢者保養

がかりに町の活性化と林業振興に尽力していきたいと思えます。

町長 今まで川上政策が多くて川下政策が少なかった。今回の事で川下政策が充実してきそうな感じがしています。下仁田町は森林蓄積量の町でありますから、今年度から始まる森林環境譲与税を足

れた場所で安心して穏やかに送れる形がいいと思いますが、検討の余地があります。

議員 ひとり暮らし高齢者の将来は交通面・生活面・防災面等いろいろな事を考えると集合住宅的なものが必要ではないか。

町長 この問題は大変です。町民の皆様が住み慣



集合住宅



佐藤 博 議員

問 テレワークオイスの利用実績は

答 現在は1名です

議員 指定管理者としての取り組みについては。

商工観光課長 専用のウェブページを開設し、内容や料金体系を周知し、利用者を募りました。

議員 昨年9月の質問時に瑕疵担保責任の指摘をしたが、その後の対応は。

地域創生課長 手順書は作成され、研修は行った。

議員 人材インタビューの取材先は増員されたか。
地域創生課長 9名のみままで、増員されてません。

議員 インタビューの記事作成費用は最低20名以上で300万円でした、

79万円では減額が少な過ぎると指摘したが、その後に変更はありましたか。
地域創生課長 変更はございません。

議員 創業者支援のための大切な創業プログラムの開発がされておりませんか。
でした、その後は。

地域創生課長 この点も開発されておりません。

議員 ウェブサイト「OK OSU下仁田」は休止中のまま、再開の目途は。

地域創生課長 全員の同意書が提出され次第、公開する、業者に対して早く公開できるように申し伝えております。

議員 再開の時期を確認されておるか。
地域創生課長 年度内には是非でも公開するよう申し伝えてあります。

議員 何とも無責任な業者です、9月の質問に「瑕疵担保に匹敵するようなものが出る」と問題、調査したい」と答弁された。

町長 調査の結果の報告を。
町長 担当者が途中で交代

となり、引き継ぎがうまくいかなかったことが原因と聞いております。修正がどうなっているのか、担当課に指示を行いました。

議員 業者そのものの問題、調査内容を町長に伺う。

町長 課長に答弁させます。
地域創生課長 同意書が残り1名から提出され、ウェブサイトに再び公開された時点で全ての事業が完了するかと考えてます。

議員 残り1名の同意書の提出期限、ウェブサイトの再開期限ぐらいは答弁いただけると期待していた。9月の質問から半年が経過しても完成していない、指定管理者を見直すべき。

町長 今は途中、運営実績を見た上で判断したい。
議員 曖昧な事業展開には苦言を申すべき。
町長 状況を見て判断する。

議員 不登校の保護者と直接対談を
議員 学校の取り組みを積極的に支援

議員 不登校の対策は。
教育課長 背景は一人一人違います。要因や背景を的確に把握して具体的な対応策を検討し、学校全体で取り組んでおります。教室相談員を小・中学校に配置し、週に1回ですが、相談を受けられる体制、県からスクールカウンセラーを1名ですが、配置していただき、月に2回、相談を受ける体制を整えてます。また、教育委員会では、教育相談事業として児童・生徒、保護者からの相談を電話で受け付けております。

議員 教育長は教育のプロフェッショナルです。現在は教育長の立場であり、言われなくてもありしてやろうの気持ちがありと思えます。教育長としての施策を伺いたい。
教育長 4月から下仁田町にも適応指導教室を設置し、専門的知識を持った職員に指導してもらおうと現在準備を進めています。専門家を活用しながら不

登校ゼロを目指して生徒指導に取り組みます。

議員 以前は保護者が教育委員会にものを言わんとすると学校に止められた。「直訴をしないでください」と言われた時期があった。教育長に手を差しのべてもらえると、直訴ではなくなる。学校と保護者の間に入っていたことに期待したい。自ら保護者と向かい合っていて、学校の立場では言いえない苦言も申してほしい。

教育長 学校の取り組みを積極的に支援する。不登校対策は大きな割合を占めると考えております。保護者から要望があれば、機会を設定したい。
議員 学校側が一番嫌がることです。校長経験者の教育長が一番よくご存じだと思います。直訴ではなく、教育長から保護者に呼びかけて欲しいという質問でした。

※ウェブサイトとは…インターネット上で情報などが掲載されているホームページなどの事。



佐藤 公夫 議員

問 観光協会への補助金1,100万円の算出根拠は？

答 収支不足額が補助金の根拠

商工観光課長 観光協会の予算を基礎とし、事業収入が、高速バスチケット販売やこんにやく手作り体験等で1,060万円。経費が、人件費業務費1,049万5千円、事業費1,110万5千円で、歳出合計が2,160万円となり、不足する1,100万円が補助金の根拠です。

問 道の駅内設置の観光案内所利用状況は？

答 約3万3千人

商工観光課長 旅行会社からの送客1,380人、こんにやく手作り体験等の客数が2,509人、その他窓口相談等の合計3万3千人（1日当たり100人）が案内所訪問客数です。

問 風穴バス運転委託100万円は？

答 1,200人輸送予定

商工観光課長 神津牧場からの要望もあり、また牧場駐車場から風穴までの徒歩の評判がよくないので、県補助金50万円を使い、1,200人を輸送する予定です。風穴入

場料が500円であるので、採算は合います。

問 牧場、風穴への増客を図る方法を提案します。

①現行の交通規制を解除。
②屋敷に確保してある駐車場用地を利用。
③牧場と屋敷の駐車場間に信号機を付け、時間相互通行とする。
④屋敷から市野萱間は一般車両を進入禁止とし、現行の許可車両のみ通行可とする。

以上を実施すれば、風穴、牧場の増客は大いに見込めるし、バスの運行や交通誘導員の配置もいらない。財政負担の軽減も図れるため、早急に関係機関と調整を図るべきだ。

問 予防医療について、先の議会で提案をしたが、その後の取り組みは

答 対象者全員に通知

保健環境課長 31年度予算に一部計上した風しん対策について説明します。

東京オリンピック・パラリンピックによる海外来訪者感染拡大防止等を図るべく、国は対策を始めました。日本人の風しん抗体保有率は、全体で92%、未接種世代の内、男性は79%です。国の政策不手際もあり、今回対象となっている昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの39歳から56歳の年代の男性は風しんワクチンが接種されていません。この間の下仁田町の対象者は688人おり、この対象者全員に無料で抗体検査を受けて

いただく通知をいたします。この検査を完全実施するために、医師会等とは、休日や夜間でも検査できるように協議しています。

問 高齢者肺炎対策は

議員 県内医療機関で、2

名の入院患者が肺炎で亡くなった報道がされました。肺炎球菌ワクチンは、一生に一度のみ公費負担がありますが、勘違いで、一度打てば一生効き目があるんだという思い込みがあるようです。5年以上経過し、医師との相談の上、自費負担になるが、2度目の接種ができる。その対策は、保健環境課長 再接種の周知は検討します。

審議結果

3月定例会（5日～15日開催）

○は賛成、×は反対を表しています。

議案番号	議案名	議員名											審議結果
		小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	佐藤勇二	千野榮治	島崎紘一	岡田武二	佐藤公夫	
諮問	人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第1号） 酒井俊輔 氏（再任）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
諮問	人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第2号） 岩井けさ江 氏（再任）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
1	下仁田町固定資産評価審査委員会委員の選任について 神戸澄江 氏（新任）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
2	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	下仁田町役場課設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	下仁田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5	下仁田町の特別職の職員で非常勤のもの諸給与支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6	下仁田町国民健康保険基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7	下仁田町行政財産使用料条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	下仁田町公共施設等整備基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	下仁田町森林環境譲与税基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	指定管理者の指定について（下仁田町林業総合センター分）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	指定管理者の指定について（下仁田町体験交流センター分）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	指定管理者の指定について（下仁田町道の駅分）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	平成30年度下仁田町一般会計補正予算（第4号）	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	否決
14	平成30年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）												撤回
15	平成30年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）												撤回
16	平成30年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第2号）												撤回
17	平成30年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）												撤回
18	平成30年度下仁田町ガス事業会計補正予算（第3号）												撤回
19	平成31年度下仁田町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	平成31年度下仁田町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	平成31年度下仁田町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	平成31年度下仁田町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	平成31年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	平成31年度下仁田町ガス事業清算特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25	平成31年度下仁田町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

3月臨時会（18日開催）

議案番号	議案名	議員名	小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	佐藤勇二	千野榮治	島崎紘一	岡田武二	佐藤公夫	審議結果
26	平成30年度下仁田町一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	平成30年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	平成30年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	平成30年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	平成30年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	平成30年度下仁田町ガス事業会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

（堀口博志議長を除く11人で採決を行います。）

第13号議案 平成31年度一般会計補正予算（第4号）の審議経過

■3月15日 最終日（本会議）

10時 開会

10時01分 休憩

議会運営委員会・議員協議会開催

11時47分 再開

反対討論

島崎議員 第13号議案、一般会計補正予算（第4号）について反対討論を行う。

吉崎しらかば団地改修費用について、30年度当初予算で可決したが、今回補正減をしている。国庫補助事業として交付決定されていたにもかかわらず、議会に何の説明もない。事業中止の議論もされていない。議員として町民に説明できない。議会軽視、住民無視といえる。代案として修正あるいは組み換え動議もできるわけであるが、今となつては財源もない。交付額も減額してしまつて

いる。31年度予算にも計上されていない。事後報告のみで説明もない。容認できない。

第13号議案

一般会計補正予算（第4号）

挙手少数で否決

11時58分 休憩

全員協議会開催

13時42分 再開

13号議案の否決により、関係する第14号から第18号議案を取り下げさせていた。きたい。

議員 異議なし

13時54分 閉会

第1回臨時会

■3月18日

10時開会

10時2分休憩

全員協議会開催

（3月15日否決の第13号議案を修正し、第26号議案として上程）

課長 吉崎しらかば団地改修費について、国庫補助

分450万6千円を減額

し、1,877万円を施

工したい。

議員 補正を出す前に委員

会や全協で議論すべき。3棟分修繕2,327万6千円を当初予算で計上したのに、議会に相談もなく交付決定された国庫補助を返納したことは、財源を失つたということ。重大な責任があると思うが。

課長 空家になるのは、単

費もつぎ込む事業なので、取りやめという判断をした。事前に議員の皆さんに説明すべきであった。怠つた点お詫びする。

町長 報告相談が遅れたこと

と申し訳なく思います。以後気をつけたいと思います。

議員 議会を置き去りにし

て議会軽視も甚だしい。

町長 不手際、誠に申し訳ありません。今後の指導を、また、自分としてもしっかりとした認識を進めたいと思います。

11時38分 再開

第26号議案

一般会計補正予算（第4号）

挙手全員で可決



地域を伝えるガイド

「ジオパーク」地域の素材

「身近にあるジオパーク」

議会だよりに掲載させていただき早いもので8回目の掲載になりました。最初の掲載の時に、ジオパークのイメージについて書きました。「ジオパーク」地質に確かに、下仁田ジオパークには「跡倉クリツペ」「宮室の逆転層」「青岩公園」などの地質が珍しい場所がジオパークの見どころとなっています。ただ地質学的に貴重な資源があるということだけがジオパークではありません。地域の地質学的に貴重な資源とそこに住む人々の生活や伝統などのつながりや、その資源を活用して教育や観光などの地域振興を進めていくものがジオパークです。つまり、ジオパークは地域資源を活用した地域づくりの活動なのです。

皆さんが普段からしている生活習慣、昔から続いているお祭りや風習はその地域独特の地形地質

が関連しているものがあり、その伝統を続けていくこと、伝えていくこともジオパークの活動になるのです。そこでジオパーク推進係では地域との「対話」を重視して、町民とジオパークがつながる対話の場の創出をしていきたいと思っています。ぜひ、下仁田町自然史館にお越しいただき、また、地域の人達が集まる場にお呼びいただき、地域の話をお聞かせください。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



自然史館

編集室から

今年のゴールデンウィークは、長い人では10連休と言う人もいるみたいですね。

5月と言えば鯉のぼり、鯉のぼりが端午の節句で飾られるようになった由来は二つあります。一つは滝を登る鯉のように将来の立身出世を願い、次に鯉のように潔く勇ましい子に育ってほしいと願いを込めて飾っています。

また、5月は季節的には暑さ寒さのちょうどいい時期ですので楽しいこと沢山見つけて快適に過ごしてください。

K・O



次の定例会は6月です。議会及び予算決算特別委員会の傍聴ができます。日程などのお問い合わせは ☎64-8810



議会だより・会議録をホームページでご覧下さい。
<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

- 広報発行特別委員会
- 委員長 岡田邦敏
 - 副委員長 小須田肇
 - 委員 木暮弘元
 - 永井正之
 - 佐藤 博
 - 千野榮治
 - 島崎紘一